

## 平成21年度「長野市中心市街地活性化協議会」年間事業計画

## 1. 会議の開催

- 運営会議…年4回開催
- 総会…年3回開催
- 個別プロジェクト検討会議【まちなか居住促進検討会議】…年5回開催
- まちづくり勉強会…年1回開催

## 2. 調査研究事業

- 個別プロジェクト検討会議【まちなか居住促進検討会議】
  - ・中心地市街地の居住人口は既存住宅地から流出し続けており、最近のマンション建設による人口の増加分を打ち消している状況である。中心市街地の活性化には居住人口の増加が不可欠であることから、協議会運営委員、協力会員、学識経験者で構成する検討会議を開催。
  - ・ヒアリング調査や既存居住家屋の状況調査の分析等を通じて、まちなかに居住するための実現可能な具体的な仕組みづくりを検討する。
    - ※別紙 「長野市中心市街地活性化基本計画〔概要版〕」及び「まちなか居住検討会議委員名簿(案)」参照
- まちなか居住状況調査の実施
  - ・まちなか居住を検討するために必要な現状把握や基礎資料作成のため、中心市街地の既存家屋等の状況調査や住民アンケート等を実施。

## 3. まちづくり勉強会

- ・まちなか居住促進検討会議やその調査結果を基にした勉強会を実施。

## 4. 情報発信

- ・ホームページ等による情報発信を実施。

## 5. 年次計画（予定）

月	内容
4月	運営会議①、個別プロジェクト検討会議【まちなか居住】①
5月	ホームページ等情報発信
6月	個別プロジェクト検討会議【まちなか居住】②
7月	運営会議②、総会①
8月	個別プロジェクト検討会議【まちなか居住】③
9月	
10月	個別プロジェクト検討会議【まちなか居住】④
11月	
12月	運営会議③、総会②、個別プロジェクト検討会議【まちなか居住】⑤
1月	まちづくり勉強会①
2月	
3月	運営会議④、総会③

## 6. 平成 21 年度 予算書

### ○収入の部

項目	金額(円)	内 訳
国庫補助額	9,234,000	13,852,192 円×2/3 (補助率) ≒9,234,000 円
自己財源	4,714,192	補助対象経費自己負担分+印刷費
合 計	13,948,192	

### ○支出の部

科目	金額(円)	内 訳
<b>■タウンマネージャー設置経費</b>		
旅費	235,880	6ヶ月定期代(明科⇄長野)@117,940円×2
委託費	9,000,000	業務委託契約(H21.4~H22.3)@50,000円×180日
<b>■委員会開催に係る経費</b>		
委員等謝金	45,000	検討会議等講師:@15,000円×3回
会場借料	32,912	総会・勉強会:トイーゴ「大学習室1」@8,228円×4回 ※会場使用料5,100円+備品使用料1,000円+冷暖房費2,128円
印刷費	96,000	会議資料:@10円×20頁×30人×16回【補助対象外】
通信運搬費	38,400	郵便料:@80円×30人×16回(総会、勉強会等案内)
<b>■調査・研究に係る経費</b>		
委託費	4,500,000	まちなか居住状況調査等業務委託
合 計	13,948,192	

## 7. タウンマネージャーの業務内容

### ■タウンマネージャーについて

・H19年5月からタウンマネージャーを委嘱している越原照夫氏を再任。

### ■年間計画

・平成21年4月~平成22年3月の期間、業務委託契約を締結する。

### ■業務内容

#### ①協議会活動推進のための業務(関係者の合意形成、事業化支援)

長野駅前や空き店舗が増加している権堂周辺エリアなど、駅前の顔作り、青空駐車場等の低未利用地等を再生するための方策を検討していく。地権者等の意向の聞き取り、関係者の巻き込み、有効活用策の提案、事業採算性のアドバイス等を行う。

#### ②(株)まちづくり長野の経営指導業務(各事業の運営管理等)

TMOとして中心市街地の活性化のために実施してきた、TOMATO食品館(大型空き店舗対策)、楽茶れんが館(空き店舗対策)、ぱていお大門(地域資源活用型商業拠点整備)、表参道もんぜん駐車場(駐車場対策)、起業家インキュベーション施設の経営指導、運営管理を行い、拠点施設の賑わい維持と中心市街地の回遊性確保を図る。

#### ③中心市街地活性化に必要な各事業の企画・立案、テナントミックス等に係るアドバイス

中心市街地全体のエリアマネジメントと、次代のまちづくりに必要な事業や政策の研究等、総合的なアドバイス。